

内容をご熟読ください

HORNET[®]
Auto Security Systems

ZERO[™]

ANSWERBACK SECURITY SYSTEM HZ001
2-WAY REMOTE CONTROL

Owner's Guide

取扱説明書

お願い

本説明書には車載物盗難保険及び見舞金制度についての記載がございますが、2009年12月31日を持って終了いたしました。ご了承ください。

「安心と安全を次の世代に」

KATO-DENKI



この度は HORNET ZERO をお買い上げいただきまして
誠にありがとうございます。
ご使用前に本書に記した注意事項をよくお読みいただき、
安全かつ正しい方法でより長くご愛用くださるようお願いいたします。
本書はなくさないよう、大切に保管しておいてください。

- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載もれなどお気付きの点がありましたら、ホーネットカスタマーセンターまでご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替え致します。
- 本書に掲載されている内容は 2005 年 8 月 1 日現在のものです。
- 本書の著作権は加藤電機株式会社にあります。
- 本書に記載されている内容は、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の掲載画像には若干の相違がある場合がございますのでご了承ください。

HORNET® は加藤電機株式会社および Directed Electronics, Inc. の日本国および米国における登録商標です。
クリックトーン® は加藤電機株式会社の登録商標です。
KATO-DENKI ZERO™ ダイアグノスティック™ など、本書記載の呼称は加藤電機株式会社の商標です。

お取り扱い上の注意	5
安全上の注意	6
使用上の注意.....	6
梱包物をご確認ください	8
HORNET ZERO HZ001の梱包物	8
メインユニットの取り付け	9
メインユニットの各部の名称.....	9
取り付け手順	10
各センサーの特長	13
2段階衝撃センサー	13
3次元傾斜センサー	13
2段階超音波センサー	14
基本的なリモコンの使い方	15
リモコンについて	15
リモコンの各部の名称	15
リモコンの液晶表示について	16
リモコン電池の充電方法	17
1.リモコンの電源のON/OFF方法.....	19
1-1. リモコンの電源を ON にする方法.....	19
1-2. リモコンの電源を OFF にする方法.....	20
2.セキュリティの作動について	21
2-1. セキュリティ作動方法	21
2-2. セキュリティ作動方法 (コンビニモード使用).....	22
3.セキュリティの解除について.....	23
3-1. セキュリティ解除方法	23
3-2. セキュリティ解除方法 (警報があった場合)	24
3-3. センサーが異常を検出し、警報した場合.....	25

4.パニックモード (強制サイレン) について	26
4-1. パニックモード	26
4-2. パニックモードによる警報を止める方法.....	27
5.送信エラーについて	27
6.設定モード.....	28
6-1. 設定モードに入る方法.....	28
6-2. 2 段階衝撃センサーの警告モード感度調整方法.....	29
6-3. 2 段階衝撃センサーの警報モード感度調整方法	30
6-4. 3 次元傾斜センサーの ON / OFF 設定方法.....	31
6-5. ACC シャント (P.53) の設定方法.....	32
6-6. シティモード (P.53) の設定方法.....	33
7.サイレンタイムの設定方法	34
8.履歴確認について.....	35
8-1. 履歴確認方法	35
8-2. 履歴消去方法.....	36
9.マナーモードのON/OFF操作方法.....	37
9-1. マナーモードを ON にする方法.....	37
9-2. マナーモードを OFF にする方法.....	37
10.ボタンロックのON/OFF操作方法.....	38
10-1. ボタンロックを ON にする方法.....	38
10-2. ボタンロックを OFF にする方法.....	38
11.リモコン設定モード	39
11-1. リモコン設定モードに入る方法.....	39
11-2. バックライトの ON / OFF	40
11-3. バイブレーションの ON / OFF	41
11-4. アンサーバック通知音の設定方法.....	42
11-5. ページモードの設定方法	43
標準設定内容	44

その他の機能・特長	45
異常通知.....	45
センサーの異常検知時の動作について	46
警報時のアンサーバック通知について.....	47
アンサーバック中にリモコンの音とパイブだけを止めたい場合	47

アンサーバック中にリモコンの音とパイプを止め、メインユニット側のサイレンも止めたい場合.....	48
アンサーバック中にセキュリティを解除したい場合.....	49
2段階超音波センサーの感度調整方法.....	50
感度調整.....	50
動作確認LED.....	51
110dBサイレン.....	51
レジューム機能.....	51
コンビニモード™.....	52
相互通信機能.....	52
メモリー機能.....	52
ACCシャント.....	53
迷惑防止回路 (NPC).....	53
シティモード.....	53
アフターサービスについて.....	54
アフターサービスについて.....	54
保証書について.....	54
修理を依頼されるときは.....	54
お問い合わせ先.....	55
HORNET ZERO 操作一覧.....	56

本製品をご使用になるお客様への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載してあります。注意事項は、次のような記号に分類して表示してあります。

**危険**

取り扱いを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険の生ずることが想定される事項。

**警告**

取り扱いを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う可能性が想定される事項。あるいは、軽傷または物的損害が発生する頻度が高い事項。

**注意**

取り扱いを誤った場合、使用者などが損害を負う危険が想定されるか物的損害のみの発生が想定される事項。

**禁止**

禁止行為を表す記号。この記号が表示してある行為は絶対におやめください。

**ヒント**

機構上、機能上の故障やトラブルを防ぐためのヒントなどを説明。また、アクセサリーを扱う上で、各種装置の機能を正しく作動させるために必要なことや、無理な操作をさけることでアクセサリーの寿命を延ばしたり、コンディションを最高に保つためのヒントなどを説明。



強制・制約・指示などを表す記号。

※上記はいずれも安全に関する重要な事項を記していますので、必ずお守りください。

安全上の注意

! 警告

- リモコンはお子様の手が届かないところに保管してください。システムを解除してしまったり、誤って飲み込むなど事故の恐れがあります。
- 本製品は、故意に分解および改造変更は絶対にしないでください。製品本来の機能を損なうのみならず、重大な事故が発生する恐れがあります。また、分解および改造変更を行なった製品の保証は一切していません。
- 本製品は大音量のサイレンを使用しています。人やペットが近くにいる時に本製品を起動させないでください。聴覚障害をおこす恐れがあります。



! 危険

- DC12 V車両専用
24 V車両には装着できません。



使用上の注意

(1) リモコンの取り扱いに関する注意

! 注意

- リモコンは落としたり固いものにぶつけるなどの強い衝撃を与えないでください。
- リモコンは防水性ではないため内部へは絶対に水などが浸入しないように十分注意してください。
- 水がかかるような保管方法や使用方法をしないでください。また、高温になる場所や湿気の多い場所に保管しないでください。
- 持ち運びの際にはボタンロックを行ない、リモコンの操作ボタンが押されないように十分注意してください。
- 専用充電機または市販の充電用単 4 形ニッケル水素電池以外は使用しないでください。
- 電池は使用場所の温度の影響を受け易い性質を持っています。例えば冬に寒い場所で使用した場合、暖かい場所と比べると電池残量が減りやすい傾向になりますが、室内に入るなどして温度が上がると、減っていたはずの電池残量が復帰することもあります。



! 警告

- 本製品は電波法に基づく特定小電力無線設備の技術基準適合証明を受けております。分解及び改造変更は絶対に行なわないでください。不法改造して使用すると、電波法により罰せられることがあります。
- 技術基準適合証明ラベルは絶対に剥がさないでください。電波法により罰せられることがあります。
- 本製品は日本国内専用であり、外国では使用できません。
This product cannot be used in foreign country as designed for Japan only.



(2) 使用方法についての注意

! 注意

- テストの際はガラスやボディなどが破損しないように十分注意してください。当社では万一破損などが発生しても責任は一切負いかねます。
- 本製品は低消費電力設計がされておりますが、長期の連続使用や環境、車両の整備状況によってバッテリーの消耗具合が異なります。1 週間以上車両をご使用されない場合などは特にご注意ください。
- 何らかの理由で、リモコンのボタンが押された場合には、走行中であってもパニックモードにより警報（サイレン音）が鳴り出す場合がありますが、あわてずにリモコンによりサイレンを止めてください。
- 本製品に過度の衝撃や振動は加えないでください。
- 本製品は防水構造ではないため内部へは絶対に水や油などが浸入しないように十分注意してください。
- 本製品は電波を使用している性質上、周囲に強力な電波が発生している個所では混信を受ける可能性が全くないわけではありません。

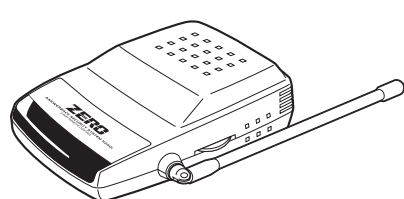


! 必ずお読みください

- 本製品の衝撃センサーは取り付けの車両によって感度が大きく変わります。
- 本製品の作動の有無にかかわらず、車両盗難、車上ねらいなどが発生しても当社では責任を一切負いかねますのでご了承ください。
- 当社では製品の検査、修理時の代品貸し出しなどは一切行っておりません。また、検査、修理時に発生した工賃などの諸費用はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。
- 車種により本製品の接続が不可能な場合があります。
- 本製品の仕様およびデザインは性能向上などのため、予告なく変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

梱包物をご確認ください

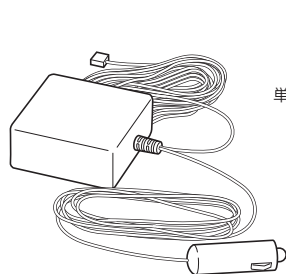
HORNET ZERO HZ001の梱包物 (取り付けの前に必ずご確認ください)



メインユニット×1台



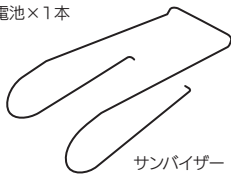
マルチファンクション
リモコン×1個



電源ユニット×1台



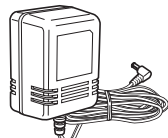
単4形ニッケル水素電池×1本



サンバイザー
クリップ×1個



充電器×1個



AC/DCアダプタ×1個

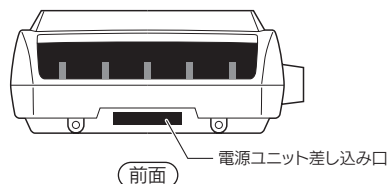
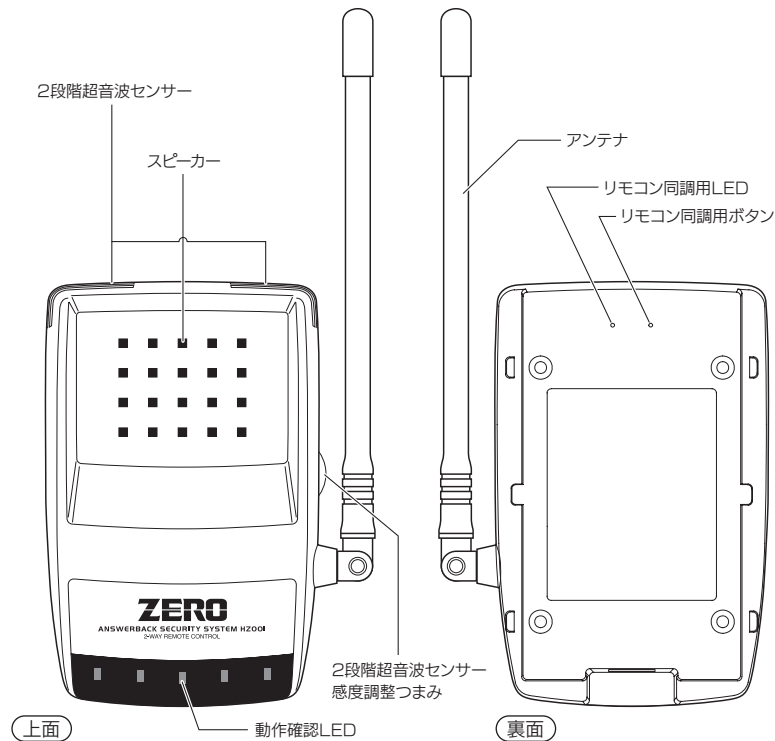
<その他の梱包物>

- ・取扱説明書×1冊
- ・ホーネットステッカー×1シート
- ・製品保証書兼ユーザー登録ハガキ×1枚
- ・プライバシー保護シール×1枚
- ・配線止め金具×3個

※ステッカーはフロントガラスには貼らないでください。
側面ガラスに貼る場合は、ステッカー全体がガラスの開口部の下縁から100mm以下、かつガラス開口部の後縁から125mm以内におさまるように貼ってください。また、ステッカーの再発行は致しません。
※本製品の仕様およびデザインは性能向上等のため、予告なく変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

メインユニットの取り付け

メインユニットの各部の名称



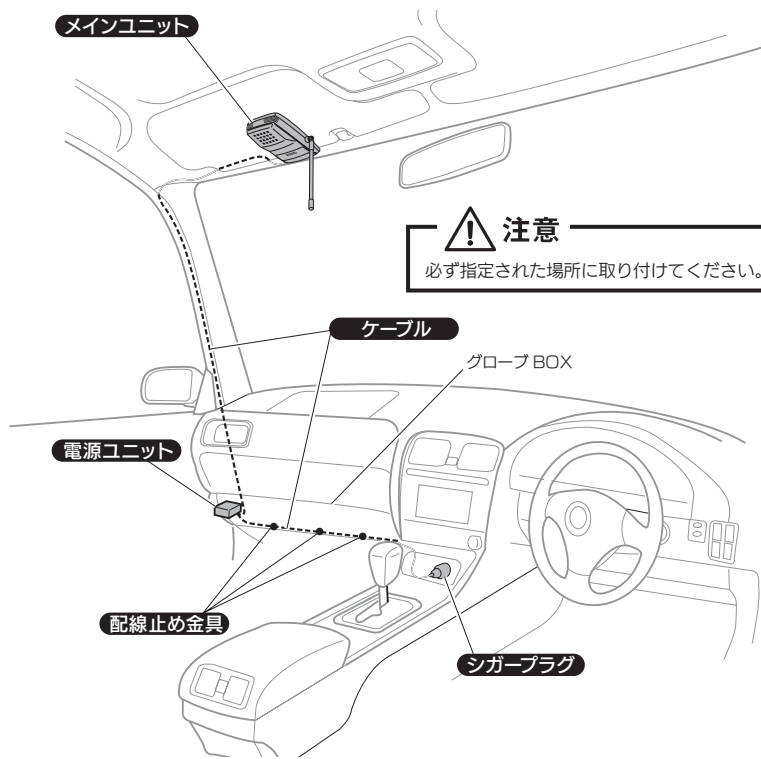
取り付け手順

■下図の全体図および次ページを参考に車内に取り付けてください。



警告

エアバッグ作動の妨げになるような設置や配線はしないでください。



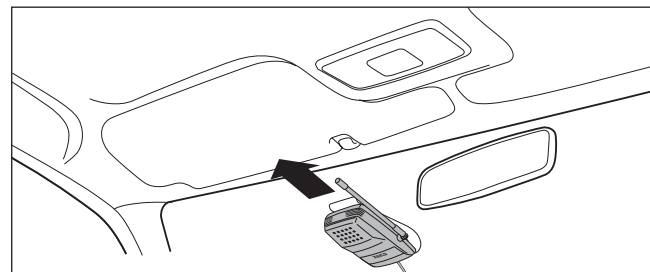
注意

必ず指定された場所に取り付けてください。

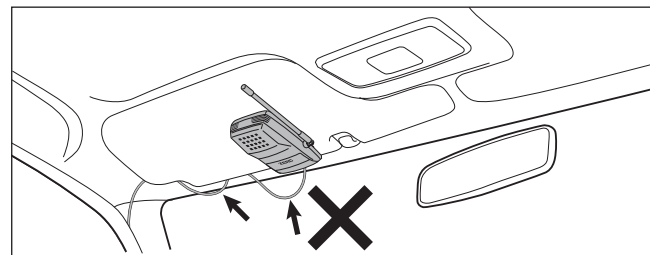
メインユニット 図のように助手席側のサンバイザーに取り付けてください。

電源ユニット 電源ユニットはグローブBOX内におさめ、ケーブルは邪魔にならないように内張りの裏やモールの裏などを通してください。

1. サンバイザークリップ、電源ユニットのケーブルをそれぞれメインユニットに差し込んでください。
2. メインユニットをサンバイザーに取り付けしてください。



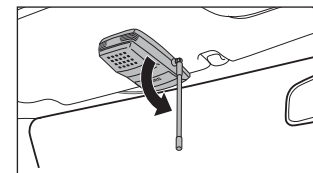
サンバイザーを手前に外すと作業がしやすくなります。



ケーブルがサンバイザーよりはみ出して、垂れ下がらないように調整してください。

3. アンテナを垂直にする

アンテナを垂直にすると、水平な状態よりも通信距離が比較的伸びます。



■シガーソケットのタイプについて

シガーソケットがアクセサリ(ACC)に連動している場合:

国産車のほとんどは、車両のイグニッションキーをアクセサリ(ACC)ポジションに回したときにシガーソケット(アクセサリソケット)の電源がはいります。その場合にはACCシャント(P.32)の設定をONにすることで、市販のエンジンスターターやターボタイマーなどと併用することができます。

シガーソケットが常時通電している場合:

一部の国産車や外国車では、エンジンを停止しているにも関わらず、シガーソケット(アクセサリソケット)の電源が入り続けている車種があります。その場合にはACCシャント(P.32)の設定をOFFにすることで、本製品をご利用いただけますが、市販のエンジンスターターやターボタイマーなどと併用することはできません。

■充電

シガープラグを車両のシガーソケットに差し込んだ状態でエンジンキーを回し、シガーソケットに電源(DC12V)が供給されると、充電を行ないます。

⚠ ヒント

安全のためシガープラグは常時シガーソケットに差し込んでおいてください。

⚠ 注意

- 本製品は-5℃~50℃以外の環境下では充電は行なえません。この温度範囲外で充電を行おうとしたときは充電を行ないません。充電可能温度範囲に戻ったら、充電を開始します。
- 1回の満充電で約6日間の警戒が可能ですが、検回数が多い場合などの条件によってはこの期間は短くなります。
- 電源ユニットの寿命は約3年です。寿命を超えてご使用された場合は、満充電を行なってもすぐに電池がなくなるなどの現象が起こります。この場合は新しい電源ユニットにお取替えてください。
- 6日間以上充電していない場合は、1時間以上充電してからセキュリティを作動してください。

2段階衝撃センサー

目的

ガラス割りやいたずら等によるクルマへの衝撃をキャッチしたい!

車体に加えられる衝撃を自動判別して弱い衝撃では警告、強い衝撃では警報を鳴らして威嚇します。



お客様のご使用環境に応じてそれぞれ0~7段階から感度を調整することができます(P.29)。



注意

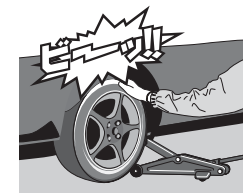
- 衝撃センサーの性質上、感度を敏感にするほど様々な外的要因(幹線道路周辺、工事現場や工場の近く、飛行場周辺、バックファイヤーの激しい車の往来、台風その他)による微振動や衝撃波を検出して犯罪時以外にもサイレンが鳴る場合があります。センサーの特徴をよく理解し、ご使用環境や目的によって適切な感度に設定の上ご使用ください。
- 一般的に衝撃センサーで傷つけを防ぐことはできません。

3次元傾斜センサー

目的

ホイール盗難やレッカー車等による車両盗難を防ぎたい!

車両の傾きをキャッチすると警報を鳴らして威嚇します。検出角度は約2.0度です。



坂道に駐車しても大丈夫!
システム作動時の状態を基準にして傾きを検出するため安心です。

2段階超音波センサー

目的 ドアのかじ開けに反応させたい!

システム作動時にドアを開けると警報で威嚇します。



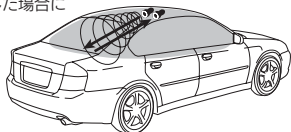
目的 ガラス割りや車内への侵入をキャッチしたい!

システム作動中に、車内に侵入されると警報で威嚇します。



クルマに取り付けた際の超音波反射のイメージ図▶

反射波が変化した場合に感知します。



2段階超音波センサーは、超音波の反射を利用したセンサーです。反射から物の動きを感知して、警告や警報を鳴らします。

警報レベルに達しない物の動きや衝撃に対しては警告を鳴らして威嚇します。



2段階衝撃センサー (P.13)、シティモード (P.53) と併用することでより誤報が減り、安心してご利用いただけるようになります。お客様のご使用環境に応じて感度を調整することができます (P.50)。

⚠ 注意

本製品内蔵の2段階超音波センサーは、性質上急激な温度変化がおこると反応します。また、車両に加わった揺れや振動などで車内の小物やアクセサリが動いた場合、動体と見なしてセンサーが反応します。

超音波センサーの性質を正しくご理解いただきました上でご使用ください。

リモコンについて

本製品付属のリモコンには、メインユニットの各種の操作が行なえるほか、車両に異常が発生し警報を鳴らした際に、手元に通知する機能があります。その際の通信可能範囲(距離)は以下の通りです。

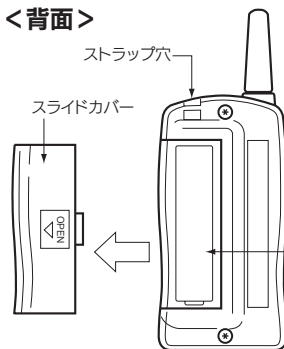
- ・理論値約4km ・見通し約1km ・実測値(市街地) 150~600m
- ※電波を使用している仕様上、環境によっては通信可能範囲が著しく短くなる場合があります。

リモコンの各部の名称

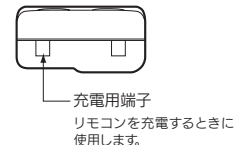
< 前面 >



< 背面 >



< 底面 >

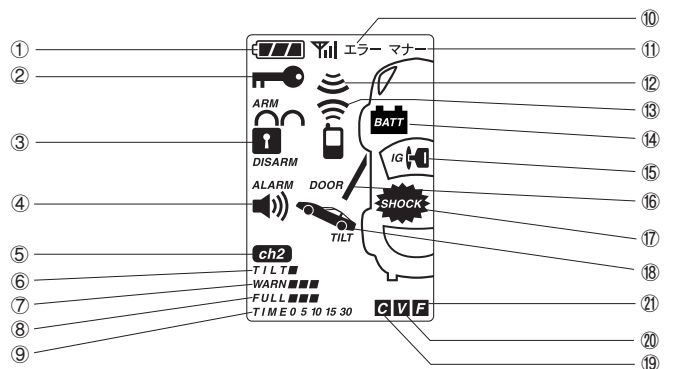


充電用端子
リモコンを充電するときに
使用します。

⚠ 注意

充電電池は消耗品です。完全に充電した後にご使用できる時間が著しく短くなった場合は、新しい充電電池(単4形のニッケル水素電池 [1.2V] を1個)をお買い求めください。電池交換時には、電池の極性に注意して、正しい向きに入れてください。

リモコンの液晶表示について



- | | |
|--------------------|--------------------|
| ① 電池残量表示 | ⑫ 受信表示 |
| ② ボタンロック設定 | ⑬ 送信表示 |
| ③ システム作動状態 | ⑭ 使用しません |
| ④ サイレン発報状態 | ⑮ 使用しません |
| ⑤ 使用しません | ⑯ ドア開放・侵入感知 |
| ⑥ 3次元傾斜センサー設定 | ⑰ 衝撃感知 |
| ⑦ 衝撃センサー警告感度 | ⑱ 傾斜感知 |
| ⑧ 衝撃センサー警報感度 | ⑲ コンビニモード |
| ⑨ サイレンタイム設定 | ⑳ バイブモード |
| ⑩ 電波状態通信成功か通信失敗を表示 | ㉑ ファンクションキー（設定モード） |
| ⑪ マナーモード設定 | |

リモコン電池の充電方法

■ リモコンとその充電について

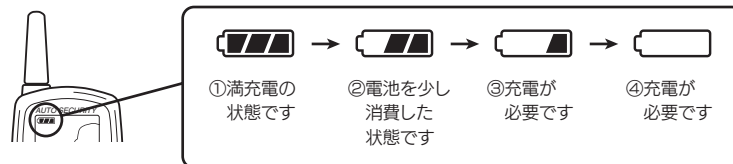
- はじめてお使いになるときや、長時間ご使用にならなかったときは、必ず充電してからお使いください。その際、充電時間が長くなる場合があります。また、一週間に1～2度程度（送受信の回数が多い場合は充電回数を増やしてください）充電を行なってください。
- 充電電池は消耗品です。完全に充電した後にご使用できる時間が著しく短くなった場合は、新しい充電電池（単4形のニッケル水素電池 [1.2V] を1個）をお買い求めください。

⚠ 注意

- 電池パックの端子が汚れていると充電器との接触が悪くなり、充電できないことがあります。定期的な乾いた布で端子を拭いてください。
- 環境保護のため、不要になった電池パックを一般のゴミと一緒に捨てないでください。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り絶縁してから個別回収へお持ちください。

■ リモコン電池の充電確認方法

リモコンの電池を入れた状態で、液晶画面左上の電池マークを確認します。



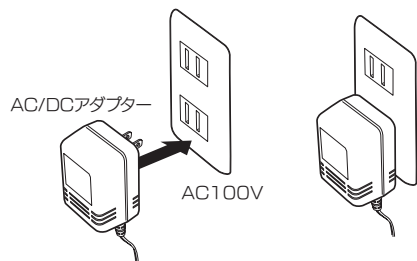
リモコンの電源が入らないほど放電している場合にも充電が必要です。

■ リモコンの充電方法

① 充電器の AC アダプタジャックに AC / DC アダプタのプラグを差し込みます。

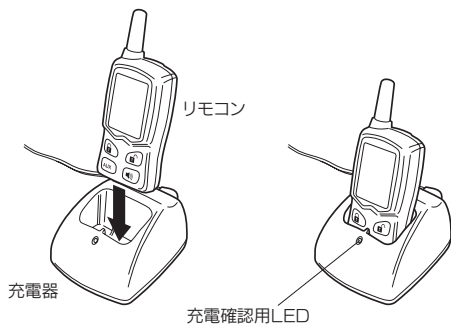


② AC/DC アダプタを家庭用コンセント（AC100V）に差し込みます。



③ 充電器にリモコンをセットします。

充電中は、充電器の充電確認用 LED が赤色に点灯します。



④ 充電確認用 LED が消灯したら充電終了です。

⑤ 充電終了後や、充電を行っていないときには、AC/DC アダプタはコンセントから抜いておいてください。

⚠ 注意

- 充電器は必ず専用のものをご使用ください。

リモコン操作により、システムの作動や解除および機能設定などを行いません。メインユニットの車両取付、配線接続およびリモコンの電池装着・充電が終了していることを確認してください。

1. リモコンの電源のON/OFF方法

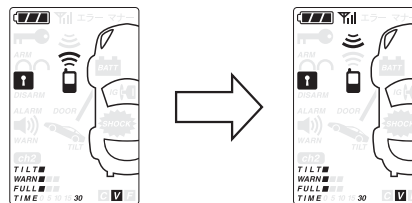
1-1. リモコンの電源を ON にする方法

リモコンの電源が OFF、バックライトも消灯した状態で行ないます。

- ① ボタンと ボタンを同時に押します。
- ② 画面にすべてのアイコンが1回点滅表示し、「ピッ」とリモコンから確認音が鳴ります。



- ③ 画面が以下のように変化し、送信、受信を行ないます。画面の は2秒ほど点灯し、消えます。



④メインユニット側の設定状態を表示します。

例：セキュリティ作動中の場合



⚠ 注意

送受信をエラーした場合は、メインユニット側の設定状態を読み込めていません。いずれかのボタンを押すと設定状態を再度読み込みます。

1-2. リモコンの電源を OFF にする方法

リモコンの電源が ON の状態で行ないます。

- ① ボタンと ボタンを同時に押します。
- ②画面が以下ようになります。

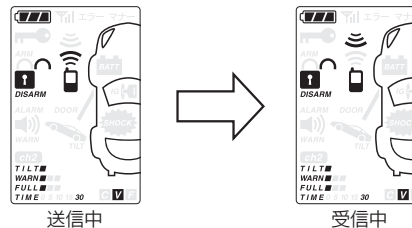


③リモコンの電源 OFF 状態になります。

2.セキュリティの作動について

2-1. セキュリティ作動方法

- ①リモコンの ボタンを 1 回押します。
- ②画面が以下のように変化し、送信、受信を行ないます。

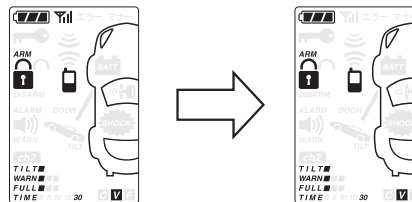


③ “ピッ” とメインユニット側から確認音が鳴り、動作確認 LED が点滅を始めます。



リモコン側からも“ピッ”と確認音が鳴ります。

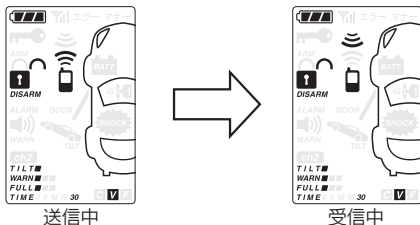
画面の が 1 回点滅した後、点灯し、セキュリティが作動します。

画面の は 2 秒ほど点灯し消えます。





2-2. セキュリティ作動方法 (コンビニモード使用) ……P.52


- ①リモコンの  ボタンを1回押した後に  ボタンを1回押します。
- ②画面が以下のように変化し、送信、受信を行ないます。

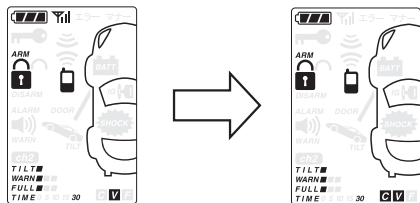


- ③ “ピッ” とメインユニット側から確認音が鳴り、動作確認 LED が点滅を始めます。

リモコン側からも“ピッ”と確認音が鳴ります。

画面の  が1回点滅した後、点灯し、 が画面に表示され、セキュリティが作動します。

画面の  は2秒ほど点灯し消えます。




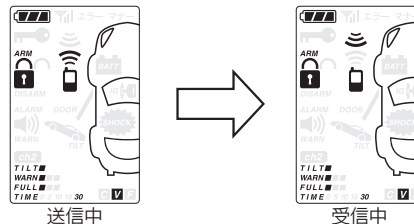
- ④メインユニット側から“ピッピッピッ”と確認音が鳴ります。

※コンビニモードを使用してセキュリティを作動させた場合、内蔵の2段階衝撃センサーは動きません。
 ※コンビニモードはセキュリティを解除すると同時に解除されます。

3.セキュリティの解除について

3-1. セキュリティ解除方法


- ①リモコンの  ボタンを1回押します。
- ②画面が以下のように変化し、送信、受信を行ないます。

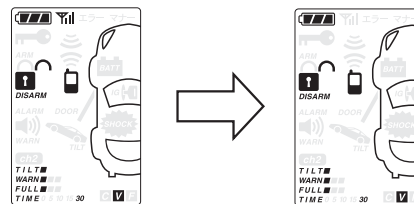


- ③ “ピッピッ” とメインユニット側から確認音が鳴り、動作確認 LED が消灯します。


リモコン側からも“ピッピッ”と確認音が鳴ります。

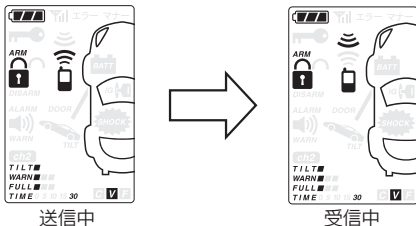
画面の  が2回点滅した後、点灯し、セキュリティが解除します。

画面の  は2秒ほど点灯し消えます。



3-2. セキュリティ解除方法（警報があった場合）

- ①リモコンの  ボタンを1回押します。
- ②画面が以下のように変化し、送信、受信を行ないます。



- ③ “ピッピッピッ” とメインユニット側から確認音が鳴り、動作確認 LED の点滅方法が変わります (P.51)。

リモコン側からも “ピッピッピッ” と確認音が鳴ります。

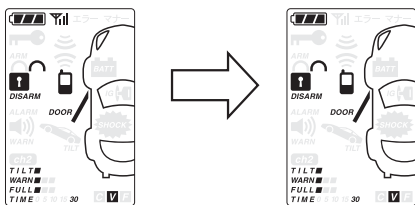
※迷惑防止回路が働いた場合は、“ピッピッピッピッ” とメインユニット側から確認音が鳴ります。

以下の画面のように異常があったセンサーアイコンが2回点滅した後、点灯します。

画面の  が2回点滅した後、点灯し、セキュリティが解除します。

画面の  は2秒ほど点灯し消えます。

例：2段階超音波センサーが異常を検出し、警報を鳴らしていた場合




※複数のセンサーが異常を検出していた場合は、反応したセンサーすべてが5回点滅した後、点灯します。


3-3. センサーが異常を検出し、警報した場合

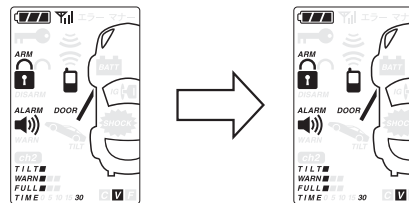
- ①メインユニットから警報が30秒間鳴ります。
- ②警報が鳴りだしてから60秒以内にリモコンに異常通知が届きます。
異常通知の画面推移は以下の通りです。

- ②-1 画面が右のように変化します。




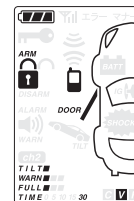
- ②-2  アイコンが画面に表示され、同時に反応したセンサーアイコンが点滅し、アンサーバック通知音を30秒間鳴らします。

※パイプ設定にしてある場合にはアンサーバック通知音と同時にパイプします。
画面の  は2秒ほど点灯し消えます。



- ②-3 アンサーバック通知音が鳴りやんだ後、以下の画面のように反応したセンサーアイコンが点灯した状態になります。

※  アイコンは消灯します。




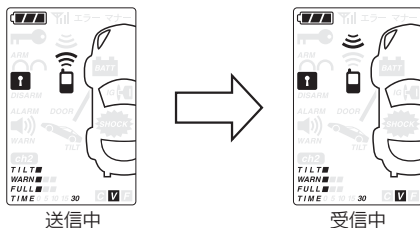
ドアが開けられて反応した例


4.パニックモード（強制サイレン）について


リモコン操作でサイレンを強制的に鳴らすことができます。
緊急時に犯人を威嚇したい時などに便利です。

4-1. パニックモード

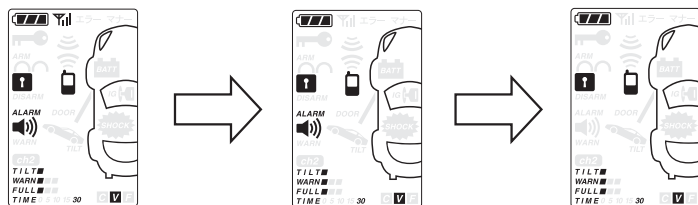
- ①リモコンの  ボタンを2秒以上押します。
- ②画面が以下のように変化し、送信、受信を行ないます。



- ③メインユニットから警報が鳴ります。
画面に  アイコンが点灯表示されると同時にリモコンから確認音“ピッ”が鳴ります。

画面の  は2秒ほど点灯し消えます。

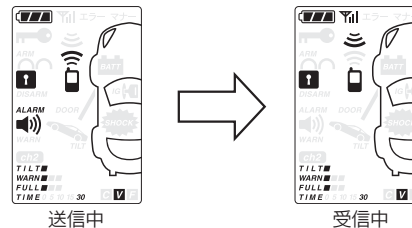
 アイコンは30秒経過すると消灯します。



※パニックモードは、セキュリティの作動/解除状態に関係なくご利用いただけます。

4-2. パニックモードによる警報を止める方法


- ①パニックモード中にリモコンの  ボタンを2秒以上押します。
- ②画面が以下のように変化し、送信、受信を行ないます。

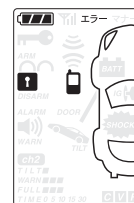


- ③メインユニットの警報が止まり、画面の  アイコンが消灯します。

5.送信エラーについて

リモコンからの操作によるメインユニットへの送信が、圏外である場合などには、操作エラーの表示がでます。

送信エラーが起きた場合には、“ピッピッ ピッピッ ピッピッ”とリモコンから確認音が鳴り、画面に  アイコンが表示されます。
再度操作を行なってください。



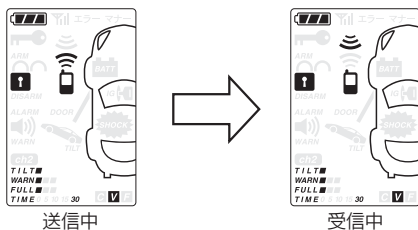
6. 設定モード

設定モードでは以下のセンサーおよび機能の設定変更を行なうことができます。

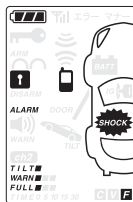
- 2段階衝撃センサーの警告モード感度調整
- 2段階衝撃センサーの警報モード感度調整
- 3次元傾斜センサー ON / OFF 設定
- ACC シャントの設定
- インティモードの設定

6-1. 設定モードに入る方法




- ① リモコンの  ボタンと **AUX** ボタンを同時押しします。
- ② 画面が以下のように変化し、送信、受信を行ないます。



- ③ “ピ——”とリモコンから確認音が鳴り、画面に **F** アイコンが表示されます。設定モードに入ります。それと同時に **SHOCK** アイコンが点灯、**I** アイコンの下に **WARN** アイコンが表示され、**WARN** アイコンが点滅します。



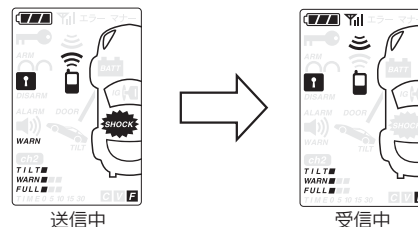
6-2. 2段階衝撃センサーの警告モード感度調整方法

- ①  ボタンを押すことで感度レベルを上げることができます。 ボタンを押すことで感度レベルを下げるすることができます。
- ② 画面の **WARN** アイコンの  アイコンが以下のように表示され、感度レベルを確認することができます。









標準設定 感度4

- ③ 感度レベルを決定したら、**AUX** ボタンを押します。
- ④ 画面が以下のように変化し、送信、受信を行ないます。




- ⑤ “ピッ”とリモコンから確認音が鳴り、設定完了です。

6-3. 2 段階衝撃センサーの警報モード感度調整方法

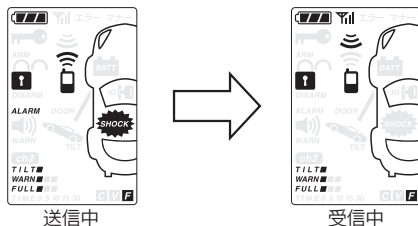
- ①設定モードに入った後、 ボタンを1回押します。
- ②  アイコンが点灯、 アイコンの下に ALARM アイコンが表示され、FULL アイコンが点滅します。
- ③  ボタンを押すことで感度レベルを上げることができます。 ボタンを押すことで感度レベルを下げるすることができます。
- ④画面の FULL アイコンの横に表示される  アイコンが以下のように表示され感度レベルを確認することができます。

感度0 
 感度1 
 感度2 
 感度3 
 感度4 
 感度5 
 感度6 
 感度7 

標準設定 感度4








⑤感度レベルを決定したら、 ボタンを押します。

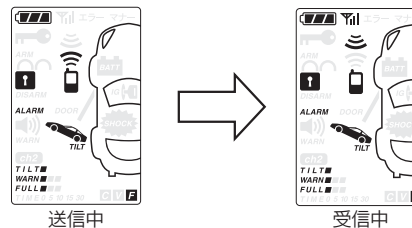
⑥画面が以下のように変化し、送信、受信を行ないます。



⑦“ピッ”とリモコンから確認音が鳴り、設定完了です。









6-4. 3 次元傾斜センサーの ON / OFF 設定方法

- ①設定モードに入った後、 ボタンを2回押します。
- ②  アイコンが点灯、 アイコンの下に ALARM アイコンが表示され、TILT アイコンが点滅します。
- ③  ボタンを押すことで TILT  アイコン表示となり、3次元傾斜センサーを ON 設定にすることができます(標準設定)。
 ボタンを押すことで TILT アイコン表示となり、3次元傾斜センサーを OFF 設定にすることができます。
- ④3次元傾斜センサーの ON / OFF を決定したら、 ボタンを押します。
- ⑤画面が以下のように変化し、送信、受信を行ないます。

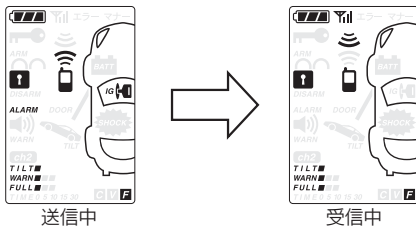


⑥“ピッ”とリモコンから確認音が鳴り、設定完了です。

6-5. ACC シャント (P.53) の設定方法








- ①設定モードに入った後、 ボタンを3回押します。
- ②  アイコンと  アイコンが点灯します。
- ③  ボタンを押すことで  アイコンが点滅し、ACC シャントが ON 状態になります。
- ④  ボタンを押すことで  アイコンが点灯し、ACC シャントが OFF 状態になります(標準設定)。
- ⑤設定を決定したら、 ボタンを押します。
- ⑥画面が以下のように変化し、送信、受信を行ないます。

例:ACCシャントをONに設定した場合

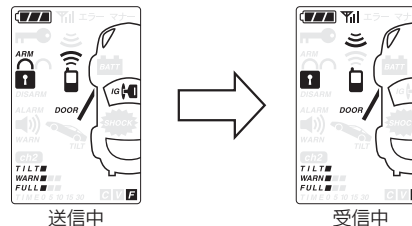


- ⑥“ピッ”とリモコンから確認音が鳴り、設定完了です。


6-6. シティモード (P.53) の設定方法


- ①設定モードに入った後、 ボタンを4回押します。
- ②  アイコンが点灯します。
- ③  ボタンを押すことで  アイコンが表示され、シティモード ON 設定状態になります。
- ④  ボタンを押すことで  アイコンが表示され、シティモード OFF 設定状態になります(標準設定)。
- ⑤設定を決定したら、 ボタンを押します。
- ⑥画面が以下のように変化し、送信、受信を行ないます。


例:シティモードON設定状態を選択した場合



- ⑥“ピッ”とリモコンから確認音が鳴り、設定完了です。



2段階衝撃センサーの警告モード
 2段階衝撃センサーの警報モード
 3次元傾斜センサー ON/OFF 設定
 ACC シャントの設定
 シティモードの設定
 の設定を順番に行ない、最後に  ボタンを押すことですべての設定状態をまとめて反映することができます。



注意
 設定中に15秒以上なにも操作をしなかった場合、設定は反映されずに設定モードを終了します。

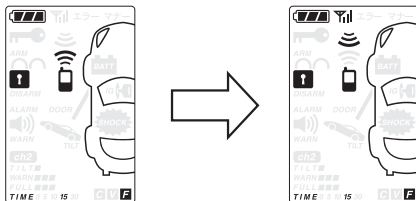
7.サイレンタイムの設定方法

- ① と ボタンを同時に押します。
- ② アイコンが点灯し、リモコンから“ピ——”と確認音が鳴ります。
- ③ ボタンを押すことで0→5→10→15→30とサイレンタイムを選択することができます。
 ボタンを押すことで30→15→10→5→0とサイレンタイムを選択することができます。

標準設定 30秒

- ④サイレンタイムを決定したら、 ボタンを押します。

例：サイレンタイムを15秒に設定する場合



- ⑤“ピッ”とリモコンから確認音が鳴り、設定完了です。

※サイレンタイムを0秒にした場合は、リモコンへのアンサーバックのみが行なわれます。



注意

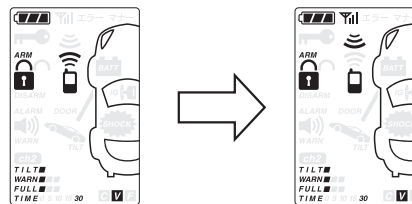
設定中に15秒以上にも操作をしなかった場合、設定は反映されずに設定モードを抜けます。

8.履歴確認について

システム作動中に異常があったかどうかをリモコンからの操作で確認することができます。

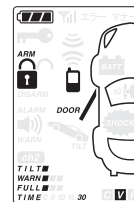
8-1.履歴確認方法

- ① ボタンを押してから、 ボタンを押します。
- ②画面が以下のように変化し、送信、受信を行ないます。
画面の は2秒ほど点灯し、消えます。



- ③異常があったセンサーアイコンを5回点滅表示し、リモコンから“ピッ”と確認音を鳴らします。
- ④センサーアイコンは点滅後、点灯表示されます。

例：2段階超音波センサーが反応していた場合





例：2段階超音波センサー、3次元傾斜センサーが反応していた場合

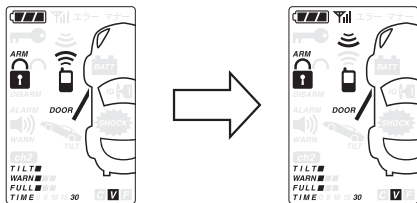


反応していたセンサーはすべて表示されます。

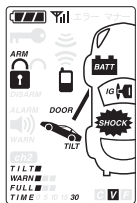
8-2. 履歴消去方法

- ①  ボタンを押してから、**AUX** ボタンを押します。
- ②画面が以下のように変化し、送信、受信を行ないます。
画面の  は2秒ほど点灯し、消えます。

例 :2段階超音波センサーが反応していた場合



- ③すべてのセンサーアイコンが0.5秒ほど点灯表示され、“ピッ”とリモコンから確認音が鳴ります。



- ④履歴消去完了です。





履歴確認、履歴消去はシステムの作動 / 解除状態に関わらず行なうことができます。

9. マナーモードのON/OFF操作方法

マナーモードに設定することで異常時のアンサーバック通知音を鳴らなくすることができます。会議中など音を鳴らすことができない環境でご利用いただけます。


9-1. マナーモードを ON にする方法

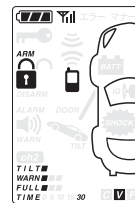
- ①  ボタンを押した後  ボタンを押します。
- ② リモコンが“ピッ”と鳴り、マナーアイコンが画面に点灯表示されます。



- ③マナーモード ON 状態です。

9-2. マナーモードを OFF にする方法

- ①  ボタンを押した後  ボタンを押します。
- ②リモコンが“ピッピッ”と鳴り、画面に点灯表示されていたマナー アイコンが消灯します。





- ③マナーモード OFF 状態です(標準設定)。

10. ボタンロックのON/OFF操作方法

リモコンのボタンをロックすることで誤って押すことを防ぐことができます。ポケットなどに入れる場合にご利用いただくと便利です。

10-1. ボタンロックをONにする方法

- ① **AUX** ボタンと  ボタンを同時に押します。
- ② リモコンから“ピッ”と確認音が鳴ると同時に  アイコンが画面に点灯表示されます。





③ ボタンロック ON 状態です。



注意

バイブレーション ON の場合はリモコンが1回振動します。

10-2. ボタンロックをOFFにする方法

- ① **AUX** ボタンと  ボタンを同時に押します。
- ② リモコンから“ピッピッ”と確認音が鳴ると同時に画面に点灯表示されていた  アイコンが消灯します。



③ ボタンロック OFF 状態です。






注意

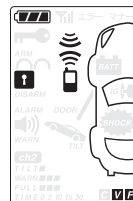
- ボタンロックは、アンサーバック通知を受けた時点で自動的にボタンロック OFF 状態になります。
- バイブレーション ON の場合はリモコンが2回振動します。

11. リモコン設定モード

リモコン設定モードでバックライトのON/OFF、バイブモードのON/OFF、異常通報の着信音の設定、ページモードのON/OFFの設定変更を行なうことができます。

11-1. リモコン設定モードに入る方法

- ①  ボタンと  ボタンと **AUX** ボタンと  ボタンのすべてのボタンを同時に押します。
- ② リモコンから“ピ——”と確認音が鳴ります。
- ③ **F** アイコンが点灯表示され、リモコン設定モードに入ります。



注意







設定中に15秒以上なにも操作をしなかった場合、設定モードを終了します。設定は、変更した時点で反映されます。

11-2. バックライトの ON / OFF







リモコン画面のバックライトの ON / OFF 設定を行なうことができます。

リモコン設定モードに入っている状態で行ないます。

【バックライト ON にする場合（標準設定）】

- ①  ボタンを押し、リモコンから“ピッ”と確認音が鳴り、画面に  アイコンが点灯表示されると同時にバックライトが点灯します（バイブレーションが ON の場合はリモコンが1回振動します）。
- ②その状態で  ボタンと  ボタンと  ボタンと  ボタンのすべてのボタンを同時に押します。
- ③リモコンから“ピー——ピー——”と確認音が鳴ります。
- ④設定完了です。

【バックライト OFF にする場合】







- ①  ボタンを2回押し、リモコンから“ピッピッ”と確認音が鳴り、画面の  アイコンが消灯します（バイブレーションが ON の場合はリモコンが2回振動します）。
- ②その状態で  ボタンと  ボタンと  ボタンと  ボタンのすべてのボタンを同時に押します。
- ③リモコンから“ピー——ピー——”と確認音が鳴ります。
- ④設定完了です。

11-3. バイブレーションの ON / OFF







アンサーバック通知音と同時にバイブレーションを使用するかどうかを設定変更することができます。

リモコン設定モードに入っている状態で行ないます。

【バイブレーションを ON にする場合（標準設定）】

- ①  ボタンを押し、画面に  アイコンが点灯表示され、振動します。
- ②その状態で  ボタンと  ボタンと  ボタンと  ボタンのすべてのボタンを同時に押します。
- ③リモコンから“ピー——ピー——”と確認音が鳴ります。
- ④設定完了です。

【バイブレーションを OFF にする場合】


- ①  ボタンを2回押し、画面の  アイコンを非表示にします。
- ②その状態で  ボタンと  ボタンと  ボタンと  ボタンのすべてのボタンを同時に押します。
- ③リモコンから“ピー——ピー——”と確認音が鳴ります。
- ④設定完了です。

11-4. アンサーバック通知音の設定方法

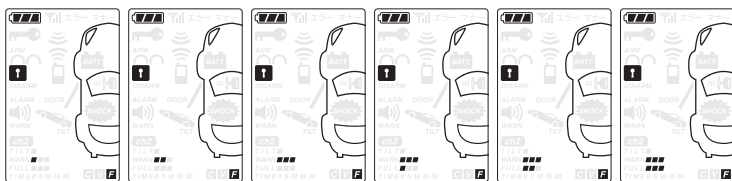
アンサーバック通知音を6音色から1音色選択設定することができます。

リモコン設定モードに入っている状態で行ないます。

【アンサーバック通知音の設定方法】

 ボタンを押すことでアンサーバック通知音を選択することができます。

①以下の画面のようにアイコン表示が変化し、その音色のアンサーバック通知音が鳴ります。



標準設定 1音色目

②音色を決定したら、 ボタンと  ボタンと  ボタンと  ボタンのすべてのボタンを同時に押します。

③リモコンから“ピー——ピー——”と確認音が鳴ります。







④設定完了です。

11-5. ページモードの設定方法







リモコンを新たに増設した場合などに、ページモードをONに設定することで手で操作したリモコン以外のリモコンでも異常のアンサーバック通知を受け取ることができます。

リモコン設定モードに入っている状態で行ないます。

【ページモードをONにする場合】

- ①  ボタンを1回押し、画面に  アイコンを点灯表示します。
- ②その状態で  ボタンと  ボタンと  ボタンと  ボタンのすべてのボタンを同時に押します。
- ③リモコンから“ピー——ピー——”と確認音が鳴ります。
- ④設定完了です。

【ページモードをOFFにする場合（標準設定）】

- ①  ボタンを1回押し、画面に  アイコンを非表示します。
- ②その状態で  ボタンと  ボタンと  ボタンと  ボタンのすべてのボタンを同時に押します。
- ③リモコンから“ピー——ピー——”と確認音が鳴ります。
- ④設定完了です。

注意

ページモードをONに設定した場合、リモコンの消費電流があるため、電池の消費が大きくなります。充電状態に注意してご利用ください。

標準設定内容

本製品の各種機能設定内容の工場出荷時設定を下記の表に示します。

項目	設定内容	取扱説明書掲載頁
2段階衝撃センサーの警告モード	感度4	P.29
2段階衝撃センサーの警報モード	感度4	P.30
3次元傾斜センサー	ON	P.31
ACC シャント	OFF	P.32
シティモード	OFF	P.33
サイレンタイム	30秒	P.34
バックライト	ON	P.40
パイブレーション	ON	P.41
アンサーバック通知音	1音色目	P.42
ページモード	OFF	P.43

異常通知

センサーが異常をキャッチした場合、メインユニットの警報に加え、リモコンに異常があったことを通知することができます。



⚠ ヒント

異常通知をリモコンの着信音・振動で知ることができます。

- ・着信音の変更 (P.42)
- ・パイブモードの切り替え (P.41)
- ・マナーモード (P.37)

センサーの異常検知時の動作について

本製品には異常を検知したセンサーの種類に応じた通報があります。

異常検知の種類	警告音／サイレンの鳴り方	リモコンの表示	
2段階衝撃センサー	弱い衝撃を受けたとき	警告音：ピッピッ……	なし
	強い衝撃を受けたとき	サイレン：6音色	 点滅
2段階超音波センサー	弱い衝撃を受けたとき	警告音：ピッピッ……	なし
	ドアが開けられたとき 車内への侵入があったとき	サイレン：6音色	 点滅
3次元傾斜センサー	車両を2.0°傾けたとき	サイレン：6音色	 点滅

※サイレンタイムは30秒が初期設定値です。

5、10、15秒の設定が選択できます。0秒に設定するとサイレン音は鳴りません。

！ ヒント

異常検知時のリモコンのアイコン表示は、着信中は点滅、着信後は点灯に変わります。

警報時のアンサーバック通知について

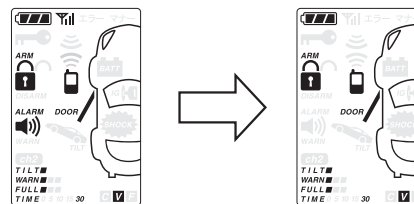
アンサーバック中にリモコンの音とバイブだけを止めたい場合

アンサーバック通知中に **AUX** ボタンを押すことでアンサーバック通知音(バイブ)を止めることができます。


画面の推移は以下の通りです。

- ① **AUX** ボタンを1回押します。
- ② アンサーバック通知音(バイブ)が止まり、反応したセンサーアイコンが30秒間点滅した後、点灯します。
- ③ **ALARM** アイコンは30秒後に消灯します。
画面の **Tilt** は2秒ほど点灯し消えます。

例：2段階超音波センサーが異常を検出し、警報を鳴らしていた場合




アンサーバック中にリモコンの音とパイプを止め、メインユニット側のサイレンも止めたい場合

アンサーバック通知中に  ボタンを押すことでメインユニットの警報およびアンサーバック通知音(パイプ)を止めることができます。

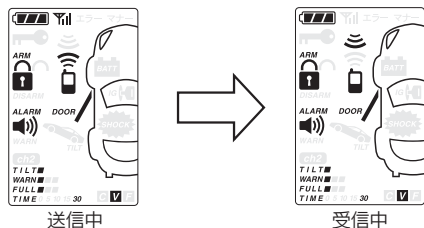
画面の推移は以下の通りです。

- ①  ボタンを1回押します。

以下の画面のように送信、受信を行ないます。

画面の  は2秒ほど点灯し消えます。

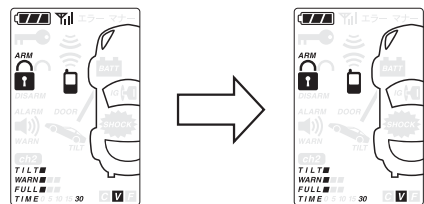
例：2段階超音波センサーが異常を検出し、警報を鳴らしていた場合




- ②受信した時点でメインユニット側の警報およびアンサーバック通知音(パイプ)が止まります。

- ③その後以下の画面に推移します。

画面の  は2秒ほど点灯し消えます。



アンサーバック中にセキュリティを解除したい場合

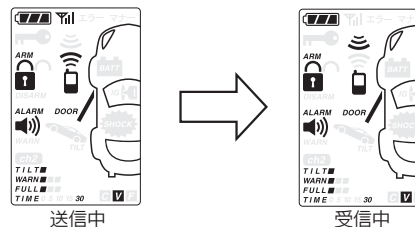
アンサーバック通知中に  ボタンを押すことでセキュリティを解除し、メインユニットの警報およびアンサーバック通知音(パイプ)を止めることができます。

画面の推移は以下の通りです。

- ①  ボタンを1回押します。

以下の画面のように送信、受信を行ないます。

例：2段階超音波センサーが異常を検出し、警報を鳴らしていた場合



- ②受信した時点で“ピッピッピッ”とメインユニット側から確認音が鳴ります。

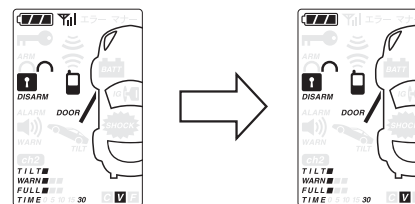
リモコン側からも“ピッピッピッ”と確認音が鳴ります。

以下の画面のように異常があったセンサーアイコンが2回点滅した後、点灯します。

画面の  が2回点滅した後、点灯し、セキュリティが解除します。

画面の  は2秒ほど点灯し消えます。

例：2段階超音波センサーが異常を検出し、警報を鳴らしていた場合



※複数のセンサーが異常を検出していた場合は、反応したセンサーすべてがら回点滅した後、点灯します。

2段階超音波センサーの感度調整方法

2段階超音波センサーは、超音波の反射を利用したセンサーです。反射から物の動きを感知して、警告や警報を鳴らします。

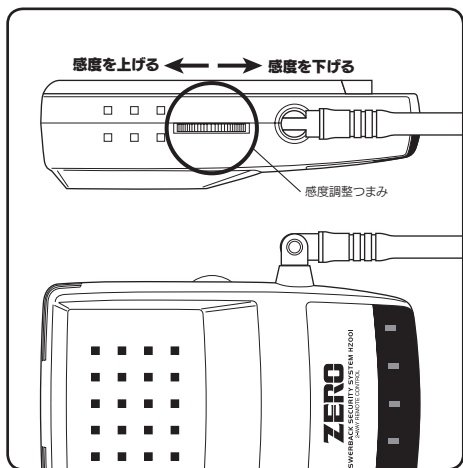
感度調整

- 感度が低いとき(ドアを開けても警報しないとき)は、感度調整つまみを回して

感度を上げてください。

- 感度が敏感すぎるとき(ドアを開けなくても反応してしまうとき)は、感度調整つまみを回して

感度を下げてください。

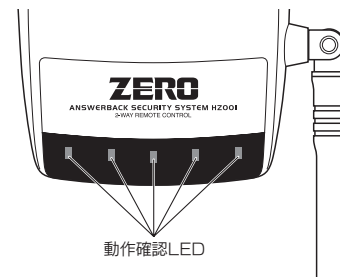


動作確認LED

不審者への威嚇効果が抜群な赤色のLEDを5つ内蔵しています。システムの作動/解除状態を確認するのに非常に便利です。

動作確認 LED 点滅パターン一覧表

システム作動状態	動作確認 LED の点滅内容
解除中	消灯しています
作動操作時	1回(約0.5秒)光ります
作動中	3秒間隔で2回点滅し続けます
警報中	すばやい点滅を続けます
解除操作時(警報なし)	2回(約0.5秒間隔)光ります
解除操作時(警報あり)	30秒間(約0.5秒間隔)点滅します。
解除操作時(迷惑防止回路作動時)	30秒間点灯し続けます



110dBサイレン

メインユニット内蔵のサイレンには最大約110dBのサイレンを搭載、効果的に犯人を威嚇します。



レジャーモード機能

機能設定された内容をバックアップするため、万一電源が切断されてもシステムの作動/解除状態を記憶しています。

コンビニモード™

幹線道路周辺やコンビニエンスストアなど振動の多い場所に駐車する場合、リモコン操作で2段階衝撃センサーのみを一時的にスリープ状態にできます。2段階衝撃センサーを働かせたくない場合に便利な機能です。

相互通信機能

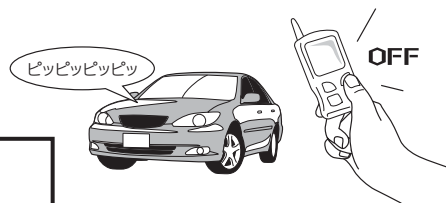
リモコンを操作することでシステムの作動／解除や機能設定変更はもちろん、それらの操作完了を手元のリモコンで確認することができます。また、愛車の異常の確認も手元のリモコンで知ることができます。



メモリー機能

システム作動中、警報が鳴ったことを記憶し、システム解除時に動作確認音の回数に変化して、警報が鳴ったことをレポートしてくれる便利な機能です。

通常	2 回の確認音
警報が鳴った場合	4 回の確認音
迷惑防止回路が働いた場合	5 回の確認音



⚠ ヒント

迷惑防止回路は P.53 をご参照ください。

ACCシャント

ACC シャント設定時 (P.32) には、市販のエンジンスターターやターボタイマーと併用してご利用いただくことができます。エンジン作動中すべてのセンサーはスリープモードとなり反応しませんが、エンジン停止後は約4分後に自動復帰します。



⚠ 注意

シガーソケットが常時通電している車両の場合、エンジンスターター／ターボタイマーとは併用できません。

迷惑防止回路 (NPC)

本製品には迷惑防止回路 (NPC) が内蔵されています。メインユニット内蔵の各センサーが8回異常を検出しサイレンが鳴った場合、8回目の異常を検出した時点からセンサー検知が無効となります。

システムを解除し、再度作動することで迷惑防止回路はリセットされます。

⚠ 注意

迷惑防止回路が働いた場合、2段階衝撃センサーおよび2段階超音波センサーが強い衝撃を検出した際には警報ではなく警告が鳴ります。

シティモード

センサー反応時の検出方法を変更することで、誤報を大幅にキャンセルします。市街地等の微振動が多く発生する地域に駐車する際にご利用ください。



2段階衝撃センサー(警告)と2段階超音波センサー(警告)が同時に(2秒以内に)働いたときのみ警告します。

アフターサービスについて

- 万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理致します。
- 本製品の保証期間はご購入の日から1年間です。
- 保証期間経過後は、修理によって本製品の性能が維持できる場合、お客様のご要望により有料にて修理致します。本製品の補修用性能部品は製造打ち切り後、最低6年間保存しています。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

保証書について

- 製品には製品保証書を添付しております。ご購入の際には、必ず製品保証書をお受け取りの上、大切に保管してください。尚、店名、ご購入日、お客様名などの必要事項の記載のないものは保証期間中であっても無効となります。
- シリアル番号は安全確保上重要なものです。ご購入の際にはメインユニットにシリアル番号が表示されているか、また、保証書記載のシリアル番号と一致しているかお確かめください。お客様の安全管理、アフターサービスのため、保険加入をしない場合でもユーザー登録は必ず製品保証書兼ユーザー登録はがきにより郵送にて行なってください。(FAX不可)
ユーザー登録がされていない場合にはサポートが受けられない場合がありますのであらかじめご了承ください。

修理を依頼される時は

- 故障とお考えの前に取付販売店または当社カスタマーセンターにご相談ください(当社カスタマーセンターへご相談後に検査依頼をされた場合でも、送料はお客様のご負担となります)。
- 修理をご依頼の際は、下記事項を確認して取付販売店へご依頼ください。
このとき保証書は必ずご提示ください。

- 1 型式名、型番号、シリアル番号
(例：ホーネット ZERO HZ001 5012204321)
- 2 故障の内容
(どのような症状か・どんな時に症状がでるか・いつでもでるか、時々かなど)
- 3 お買い上げ年月日
- 4 お買い上げ店名
- 5 お名前、住所、連絡先電話番号

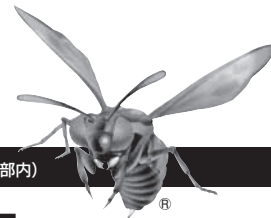
- 修理時に取り外した不良品は品質改善のため、あしからず当方にて引き取らせて頂きます。
- 購入店が移転・閉店した場合は、お近くのホーネット取扱店までご相談ください。
- 当社では製品の検査・修理時の代品貸し出しなどは一切行っておりません。また、修理を依頼される際の送料、取り付け・取り外しにかかる工賃などの諸費用はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

- ホーネットについてのお問い合わせは……

KATO-DENKI

加藤電機株式会社

お客様サポートセンター (セキュリティラウンジ本店内)



TEL 052-389-5885

FAX 052-389-5887

営業時間 月～金 10:00～17:00 (土、日、祝日、年末年始等は除く)

※お問い合わせの際は、ホーネットの型式とシリアル番号を確認させていただきますので
あらかじめご準備ください。

販売店

<HORNET ZERO 操作一覧>

①		システム作動:クリックトーンあり
②		システム解除:クリックトーンあり
③	AUX → 	システム作動:クリックトーンなし
④	AUX → 	システム解除:クリックトーンなし
⑤	 → 	コンビニモードによるシステム作動
⑥	 2秒長押し	パニックモード(システム作動状態問わず)
⑦	AUX  同時押し	センサー設定モード移行後、AUX を押し確定
⑧	  同時押し	リモコン電源ON/OFF
⑨	AUX → 	履歴確認
⑩	 → AUX	履歴削除
⑪	  同時押し	サイレンタイム設定モード移行
⑫	 → 	マナーモードON/OFF
⑬	AUX  同時押し	ボタンロックON/OFF
⑭	  AUX  同時押し	リモコン設定モードに移行後、再度同時押しで確定

「安心と安全を次の世代に」

KATO-DENKI

加藤電機株式会社

<http://www.kato-denki.com>